

社会資本総合整備計画（都市再生整備計画） 事後評価書

平成27年6月30日

計画の名称	咲洲コスモスクエア地区都市再生整備計画			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	大阪府大阪市	
計画の目標				

大目標：賑わいの創出や良好な職住環境にも配慮した地区の環境改善により、まちの魅力の向上を図る  
 目標1：ペDESTリアンデッキの整備により、交通安全性、歩行者の快適性の向上を図る  
 目標2：「咲洲コスモスクエア地区立地促進助成制度」の活用等により企業等の立地を促進し、まちの賑わいの創出等、地域の活性化を図る

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・咲洲コスモスクエア地区の土地利用を計画従前値の約71%（平成21年度）から約80%（平成26年度）に向上させる。</li> <li>・コスモスクエア駅の年間利用者数（乗降客数）を計画従前値の約5.9百万人/年（平成20年度）から約8.3百万人/年（平成26年度）に増加させる。</li> </ul>			
----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初) (H21)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
① 地区内における宅地面積に占める土地利用面積の割合 〔 71% (H21) + 5カ年 × 1.8%/年 (H16～H21における単年当りの土地利用増加率) = 80% (H26) 〕	71% (H21)	—	80%							
② コスモスクエア駅利用者数（乗り換え含まず） 〔 5.9百万人 (H20) + 6カ年 × 0.4百万人/年 (H15～H20における単年当りの駅利用者数の増加率) = 8.3百万人 (H26) 〕	5.9百万人/年 (H20)	—	8.3百万人/年							
全体事業費	合計 (A+B+C)	266.1百万円	A	266.1百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪市内において評価を実施	平成27年6月 公表の方法 市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 地域生活基盤施設事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	都市再生	一般	大阪市	直接	大阪市	—	都市再生整備計画事業	都市再生整備計画 110ha	大阪市						266.1	
小計（地域生活基盤整備事業）											266.1					
合計																
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 咲洲コスモスクエア地区におけるペDESTリアンデッキ（歩行者ネットワーク）の一部が整備され、歩行者の安全性及び回遊性が向上したため、土地利用率が増加し、コスモスクエア駅利用者数も増加した。		
II 定量的指標の達成状況	指標①（土地利用 率）	最終目標値	(平成26年度末) 80%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	(平成26年度末) 76%	
	指標②（コスモ スクエア駅利用 者数）	最終目標値	(平成26年度末) 8.3百万人/年	
		最終実績値	(平成26年度末) 6.6百万人/年	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項（今後の方針等）				
・ 本整備計画（平成22年度～平成26年度）の第2回計画変更で削除となったペDESTリアンデッキ等について、H28以降での整備を予定している。				

社会資本総合整備計画（都市再生整備計画） 事後評価書

計画の名称	1 咲洲コスモスクエア地区都市再生整備計画	交付対象	大阪市
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		

凡例

 基幹事業

